

令和5年度学校運営連絡協議会実施報告書

I 組織

- 1 都立小平南高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- 2 事務局の構成
副校長、経営企画室長、総務保健部員1名 計3名
- 3 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主任教諭（総務保健部主任）、主任教諭（教務部主任）、
主幹教諭（生活指導部主任兼任）、主幹教諭（進路指導部主任兼任）主幹教諭（2学年主任兼任）
計8名
- 4 協議委員の構成
PTA会長、同窓会副会長、近隣小学校長、近隣中学校長、大学准教授、近隣青少対委員会事務局
局長、地域体育施設指定管理者 計7名

II 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

- 1 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
第1回 令和5年6月30日（金）協議委員5名 内部委員7名
・協議委員・評価委員の委嘱、委員紹介
・学校経営計画、本校の現状と課題
・今年度の学校評価について
・意見交換、事務連絡
第2回 令和5年11月14日（火）協議委員4名 内部委員7名
・近況の教育活動報告
・学校評価アンケートに関する内容検討、協議
・意見交換、事務連絡
第3回 令和6年2月16日（金）協議委員4名 内部委員7名
・近況の教育活動報告
・アンケート結果から明確になった本校の課題と改善策
・意見交換、事務連絡
- 2 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
第1回 令和5年11月14日（火）協議委員4名、内部委員3名
・学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析と考察
・今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討
第2回 令和6年2月16日（金）協議委員4名、内部委員3名
・アンケート結果の分析・考察、課題の整理
・評価報告書（原案）の検討
・アンケート結果から明確になった本校の課題と改善策の取組・進捗状況

III 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- 1 調査の対象
本校生徒（827名）、本校生徒保護者（827名）、地域（20名）、本校教職員（47名）
- 2 アンケートの実施時期
令和5年11月22日（水）から令和6年1月26日（金）まで

3 アンケート回収状況

		生 徒				保 護 者					教職 員
		全体	1 年	2 年	3 年	全体	1 年	2 年	3 年		
令和 5 年 度	対象者 (人)	827	280	275	272	827	280	275	272		47
	回答者 (人)	759	265	248	246	443	175	147	121		47
	回収率 (%)	91. 8	94. 6	90. 2	90. 4	53. 5	62. 5	53. 4	44. 4		100
令和 4 年 度	対象者 (人)	835	277	278	280	835	277	278	280		42
	回答者 (人)	776	254	258	264	332	145	99	88		42
	回収率 (%)	92. 9	92. 8	92. 8	94. 3	39. 8	52. 3	35. 6	31. 4		100
令和 3 年 度	対象者 (人)	835	280	280	275	835	280	280	275		43
	回答者 (人)	794	264	272	258	231	89	44	98		43
	回収率 (%)	95. 1	94. 3	97. 1	93. 8	27. 6	31. 7	15. 7	35. 6		100

4 主な評価項目 学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動、健康安全、施設設備、その他

	学 校 運 営	学 習 指 導	生 活 指 導	進 路 指 導	特 別 活 動	健 康 安 全	施 設 設 備	そ の 他
生 徒	①②	③④	⑤⑥⑦⑧	⑨⑩	⑪⑫⑬⑭	⑮	⑯	⑰～⑲
保 護 者	①②	③④	⑤⑥⑦⑧	⑨⑩	⑪⑫⑬⑭	⑮	⑯	⑰～⑲
教職員	①②	③④	⑤⑥⑦⑧	⑨⑩	⑪⑫⑬⑭	⑮	⑯	⑰～⑳

Ⅳ アンケート結果

1 生徒アンケート

(1) アンケート結果

昨年度は昨年度と同様に、4件法及び、「わからない」の項目で回答を行った。オンラインでの回答も3年目となり、回収方法等も整備されてきたこともあり、90%以上の回答を得た。オンラインでの回答となると、紙と比べて、提出の有無が確認できないという短所があるが、回収したものを入力する作業がなくなるため、今後の回収率を高めるための方策を検討していく必要がある。

① 肯定の割合が高い項目

順位	質問項目	今年度	昨年度
1位	⑥私は、日常生活のマナーや社会のルールを守り、あいさつもきちんとできている。	86.7%	88.4%
2位	⑬本校の公孫樹祭に満足している。	85.4%	82.6%
3位	⑫本校の体育祭に満足している。	81.0%	79.5%
4位	⑮本校の健康安全教育（保健安全に関する指導や生活講話等）は適切である	76.4%	99.9%
5位	②本校に入学してよかったと思う。	75.6%	76.4%

② 否定の割合が高い項目（否定的意見の割合）

順位	質問項目	今年度	昨年度
1位	⑤本校の生活指導（服装・頭髪・遅刻指導等を含む）に納得できる。	48.4%	36.2%
2位	③本校の授業は、よく工夫された分かりやすいものが多いと思う。	36.5%	35.3%
3位	⑯本校は校内の清掃・ゴミの分別等の環境整備ができている。	29.8%	31.6%
4位	④本校の授業によって進路希望をかなえる確かな学力が付いていくと思う。	29.1%	30.2%
5位	⑪本校の健脚大会に満足している。	28.9%	27.6%

(1) 昨年度と比較すると、「⑤本校の生活指導に納得できる。」の項目について納得できないと回答した生徒の割合が増加している。これは生活指導に関しての基準が学年で違うのではないかと生徒が感じていることが原因だと考える。自由記述にもそのような回答があり、2学期末には生徒に対して、今後の方針を示した。

2 保護者アンケート

(1) 肯定率の高い項目、低い項目の比較

① 肯定の割合が高い項目

順位	質問項目	今年度	昨年度
1位	⑪本校の健脚大会に満足している。	89.6%	90.1%
2位	②本校に入学させてよかったと思う。	89.2%	87.7%
3位	⑬本校の公孫樹祭に満足している。	88.9%	81.9%
4位	⑥子どもは、日常生活のマナーや社会のルールを守り、あいさつもきちんとできている。	86.5%	89.2%
5位	⑫本校の体育祭に満足している。	83.5%	73.8%

② 否定の割合が高い項目（否定的意見の割合）

順位	質問項目	今年度	昨年度
1位	④本校の授業によって進路希望をかなえる確かな学力が付いていくと思う。	24.2%	28.3%
2位	⑯本校のホームページは充実している。	19.6%	30.7%
3位	⑤本校の生活指導（服装・頭髪・遅刻指導等を含む）に共感できる。	19.6%	13.3%
4位	⑧本校の保護者会や相談体制（面談等を含む）に満足している。	19.5%	20.2%
5位	⑩本校の進学を目指す取り組み（補習・補講・自習室など）は適切である。	18.3%	23.5%

3 教職員アンケート

(1) 肯定率の高い項目、低い項目の比較

① 肯定の割合が高い項目

順位	質問項目	今年度	昨年度
1 位	⑩本校の健脚大会は適切に行われている。	100%	95.2%
1 位	⑭本校は、親切でいい電話や窓口での対応をしている。	100%	100%
3 位	③より良い授業を行うための工夫をしている。	97.9%	100%
3 位	⑦本校は、体罰や暴言をなくすために、積極的に取り組んでいる。	97.9%	61.9%
3 位	⑨本校の進路指導（進路行事や情報提供、進路相談など）は適切に行われている。	97.9%	100%

② 否定の割合が高い項目（肯定的意見の割合）

順位	質問項目	今年度	昨年度
1 位	⑫本校はライフ・ワーク・バランスのとれた職場環境の実現を図っている。	29.8%	28.6%
2 位	⑤本校の生活指導（服装・頭髪・遅刻指導等を含む）は適切に行われている。	23.4%	28.6%
3 位	⑭生徒は本校の部活動に満足している。	19.1%	9.5%
4 位	⑥生徒は日常生活のマナーや社会のルールを守り、挨拶もきちんとしてきている。	17.0%	16.7%
5 位	⑯本校は校内の清掃・ゴミの分別等の環境整備ができています。	12.8%	11.9%

4 地域アンケート

(1) 肯定率の高い項目、低い項目の比較

① 肯定の割合が高い項目

順位	質問項目	今年度	昨年度
1 位	②本校が小平市の「避難場所」として指定されている事を知っていますか。	100%	79.3%
2 位	⑪本校の校地の整備は行き届いていると思いますか。	84.6%	69.0%
2 位	⑨本校の生徒はいきいきと学校生活（学校行事・部活動・登下校の様子）を送っていると思いますか。	84.6%	65.5%
2 位	⑧本校の部活動は盛んだと思いますか。	84.6%	44.8%

② 否定の割合が高い項目（肯定的意見（いいえ）の割合）

順位	質問項目	今年度	昨年度
1 位	④本校のホームページをご覧になったことはありますか。	76.9%	75.9%
2 位	①本校が地域の方々に授業を公開していることを知っていますか。	61.5%	65.5%
3 位	③本校の文化祭を見学したり、施設を利用したりしたことがありますか。	53.8%	75.9%

5 考察

(1) 調査の信頼性について

一昨年度より生徒、保護者、教職員について紙媒体でのアンケートから Microsoft Forms を利用したものに切り替えた。今年度からは、地域住民のアンケートについて、従来の紙によるアンケートと併用して Microsoft Forms による回答を取り入れた。保護者アンケートの回収率は昨年度から上昇し令和3年度と比較すると倍増し、50%を超えた。生徒については昨年とほぼ同様に90%程度であった。教職員の回答についても例年と同様に100%であった。また、Microsoft Forms を利用するようになってから自由記述の回答が増えてきている。入力等が簡単と感じているため回答が増えていると考えられる。これらのことから、今回の調査においては特に保護者についての信頼性が昨年度に比べて高くなっている。来年度以降についても、オンラインでの回答を続けるが、良い多くの回答を得るための工夫は今後も継続していく必要がある。

(2) 今年度の考察方法について

今年度は、昨年度とアンケートの内容を継続させている。回答の状況からも昨年度との比較を行うことが可能であると判断した。そのため、生徒、保護者、教職員、地域の各アンケート結果を昨年の結果と比較し、変化があるところに着目し、考察することで現状の課題を把握し今後の方策等を考察することとした。

(3) 生徒アンケートの結果から

まず、本校に入学して良かったという「学校満足度」については昨年度と大きな変化はなく約75%の生徒が本校に入学したことを肯定的にとらえている。75%という数字を大きいととらえるか、25%の生徒が良かったと思えていないところに着目するのかで評価は変わるが、できるだけ多くの生徒にとって「入学して良かった」と思える学校となるために、必要な手立てをとることが大切である。学年ごとと比較すると、3年が1番高く、次いで2年、1年となっている。学校生活に慣れるにつれて肯定的な回答が増えていくことは、学校としてはうれしい事である。

次いで肯定的な回答の割合が多い項目に着目すると、公孫樹祭、体育祭の行事について「満足している」という回答が多くなっている。今年度の両行事は生徒の実行委員会を中心に企画運営を行った。内容もコロナ前にかかなり近づいたものとなったため、生徒の満足度が高くなったと推察される。今年、昨年とともに肯定的な回答が最も高かったのは「マナーについて正しくできている」という問題である。例年この項目は保護者の肯定的な回答が多く今年度も同様である。それに対して教職員の回答は肯定的な回答が生徒、保護者と比べて低くなっている。今年度も同様であるが、昨年度に比べて教員の評価が10%程度改善している。生徒の多くがマナーやルールに対して意識が出来てきていると考えられる。また、地域のアンケート結果においても、生徒の行動に対してのお褒めの言葉をいただくなど、学校外での行動において、よい行動ができる生徒が増えてきていることが想像できる。

それに対して、否定的回答の割合が大きかった項目に着目すると、今年度大きな変化があった項目がある。「本校の生活指導（服装・頭髪・遅刻指導を含む）に納得できる」に対して否定的な回答をした生徒が今年度48.4%であった。（昨年度は36.2%）他の否定的な回答が多かった項目と比較すると、今年度の変化がとても大きくなっている。この部分については、本校の抱える現在の課題の一つであると考えられる。アンケートを実施した11月下旬時点の生活指導について、生徒は学年ごとに指導の差があると感じていたようである。自由記述にもそのような記述があることから、この部分は解決すべき問題である。そのため、生活指導部が中心となって、各学年と連携し学校全体の指導方針を明確にすることをを行った。指導基準を明確にすることで生徒の感じている不公平感については解消されつつある。今後も継続していく必要がある。

(4) 保護者アンケートの結果から

肯定的な回答の割合が高い項目に着目すると、本校の行事についてはどれも肯定的である。本校の伝統行事である「健脚大会」については、今年度も昨年同様に肯定的な割合が高くなっている。この「健脚大会」は生徒にとっては過酷な部分もあるのか、生徒アンケートでは否定的な回答が多い項目に入っている。生徒が大人になって振り返った時に良い行事だったと思えてくるのかもしれないと感じている。今年度は体育祭についての肯定的回答が約10%増えた。昨年度は三年生の保護者に限っての公開であったが、今年度は時間を限定したものの、すべての学年の保護者に公開することが出来た。その結果が今回のアンケートに反映していることが推察される。

また、約90%の保護者が「本校に入学させて良かった」と回答している。これは昨年とほぼ同様である。保護者の回答率が約50%であることを勘案すると、手放しでは喜ぶことはできないが、多くの保護者の方々が良かったと思っただけにしていることは大いに励みになる。

否定的な回答の割合が高い項目に着目すると、まず「生活指導に共感できる」の否定的な回答が6%を増加している。これは、生徒の回答と連動していると考えられる。保護者の方々は学校で直接、指導の状況を見るわけではない。当然、生徒からの情報がほとんどである。生徒が指導に対する不満を口に出していることが推察される。学校としては、前述した指導基準の統一とともに、適切な指導についてのPRが必要であると考ええる。

昨年度途中から本校のHPがリニューアルされた。そのこともあってか本校のHPについては否定的な回答が10%程度減少した。HPやX(旧Twitter)、マチコミなどを利用して本校の活動を積極的に外部に伝えることで、保護者の安心感を高めていきたい。

(5) 教職員アンケートの結果から

学校に「働き方改革」という言葉が入ってきて久しいが、教職員が感じている本校の課題の一番は「ライフ・ワーク・バランス」の実現である。昨年度、今年度ともに約30%の教職員が「ライフ・ワーク・バランス」が実現できていないととらえている。実際の業務状況について考察してもやはり、「ワーク」偏重型の教職員も少なくない数いるのが現状である。また、本校の教職員集団の特徴として平均年齢が高い事、子育て世代の教員が多い事があげられる。まさに「ライフ・ワーク・バランス」をしっかりと取りながらバランスよく業務を行っていくことが、生徒にとって良い影響を与えることになる。そのためには、学校全体での業務改善、業務軽減をしていく必要があり、管理職を中心として取り組む必要がある。

今年度大きく変化があった項目に着目すると、2点気になる事がある。1点目は「体罰や暴言をなくす取組み」に対して教職員の肯定的な回答が増えたことである。これは学校全体で生徒対応の際の言葉遣いや態度について意識が高まったことを示している。今後も意識をして継続していきたいことである。2点目は「生徒は部活動に満足している。」という項目において約10%否定的な回答が増えたことである。教職員から見て生徒の部活動の満足度が下がっていると感じている原因を推察すると、部活動をやめている生徒が増加していること、依然と比べて前向きに取り組めていないと感じている教員が多いことが考えられる。部活動は生徒にとって多くのことを学ぶ場であり、学校の活気の源ともいえる部分である。その部分に課題があるとする、早急に手立てをうつ必要がある。現在、本校は「体育健康教育推進校」に指定されている(1年目)。そこで、学校を活性化するために「体育健康教育推進事業」の中で生徒のメンタルトレーニングを実施する。その生徒が部活動等でのリーダーとなり、学校全体の活性化を科貼っていく。来年度にはこの成果を期待したい。

(6) 地域アンケートの結果から

今年度は、紙媒体とともにMicrosoft Formを活用して回答の拡大を図った。オンラインでのかいとうが9件あり今後の可能性を感じることが出来た。来年度についてはQRコードの配布方法などを工夫して多くの方からの意見をいただける方法を考えていきたい。

本校の生徒や行事、部活動等についてはおおむね好感を持っていたと判断している。その中でも、エスレートとの間にある道路の清掃活動に本校野球部が参加したことでお互いを理解する良いチャンスであったと感じている。今後も他の部活動も巻き込みながら継続していきたい。

それに対して、本校の交通ルールに対する苦言もいただいている。特に自転車については毎年、苦情をいただいている。こちらについても継続的な指導をおこなっていく必要がある。また、零年度からはヘルメット着用についてもより厳しく指導をおこなっていく予定である。

否定的な意見に目を向けると、やはり本校はPR活動が課題である。HPや学校公開、行事などで本校を伝えていくことによって、地域から信頼される学校となるよう努力する必要がある。

(7) まとめ

今年度のアンケートを通じて、現在の本校の課題が見えてきた。課題解決に向けてすでに取り組んでいるもの、これから取り組むもの様々であるが、これらの課題に対して学校全体で取り組んでいくことはもちろん、地域の方々と連携し、より良い学校づくりを目指していくことが重要である。

IV 学校運営連絡協議会の成果と課題

1 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- (1) 学校評価アンケートを活用し、その分析結果から本校の課題とその改善の方向性を学校経営計画に生かすことができた。
- (2) 学校評価アンケートで得られた学校への意見・要望に対して、企画調整会議等において学校としての改善策を明確にすることができた。

2 学校運営連絡協議会を実施して明らかになった課題

- (1) 学習規律、学習意欲、学習習慣の確立を図るための指導及び学習環境を保証するための支援の充実により、確かな学力の定着とさらなる向上を更に推し進める。
- (2) 3年間を見通した進路指導計画に基づくキャリア教育を組織的に進めるとともに、最新かつ正確な進路情報の提供と発信に努め、生徒の希望進路の実現を更に推し進める。

V 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

1 生活指導

- (1) 引き続きいじめ防止基本方針に則り、いじめのない校風を維持するため、いじめは絶対許さないという毅然とした態度で、生徒に意識付けを行った。
- (2) 生徒が納得できる指導を全教員が一致して行えるよう、指導基準や指導方法について年度当初に生活指導部中心に再確認を行うとともに、体罰の根絶への意識を徹底した。

2 進路指導

- (1) 生徒一人一人が将来の職業や専門を踏まえた進路希望を実現するため、進路指導部が主導して、3年間を見通した進路計画を立案し、LHRや総合的な学習の時間等を活用した体系的なキャリア教育に取り組み、将来の職業選択を見据えた進路選択ができるようにした。
- (2) 定期考査や実力テスト、模擬試験等のデータ分析を活用して、生徒の進路実現に向けた学力分析や研修会を実施し、学力向上と進路選択のために役立たせるようにした。

3 学習指導

- (1) 学力スタンダード及び実力テストに基づき、その結果分析を活用して、校内研修により問題点を共有化し、授業改善を行った。
- (2) 課題・宿題・小テスト等を教科と学年が連携して計画的に課すとともに、予習・復習を前提とした授業を行うことで、生徒に学習習慣を身に付けさせるように努めた。

4 特別活動

- (1) 生徒会組織を機能させることで、生徒が自ら考え、主体的に判断・行動できる場面を意図的に設定しながら、生徒に自信と責任感を持たせ、生徒の学校行事への満足度を高めるようにした。
- (2) 引き続き、補習等と部活動が重なった場合の補習優先の原則の徹底や、活動時間の厳守等時間規律の徹底を図ることで、限られた時間内での計画的かつ効率的な活動を促した。

5 施設設備

経営企画室職員と教育職員との連携を強化し、中長期的見通し立った施設・備品・設備の更新を行うとともに自律経営予算の計画的な事務執行を進めるように努めた。

Ⅵ 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

1 協議委員の人数 7人

2 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	わからな い	無回答
4	3					

3 委員からの意見

- ① HP が改変されて見やすくなった。情報発信を増やしてほしい。
- ② 保護者アンケートの回収率が上がったことが良かった。
- ③ 学校公開で保護者が学校の様子を見られる機会を増やすとよいと思います。
- ④ 連携、協力して取り組めることを考えていきたいです。
- ⑤ 交通マナーは向上したと思います。部活動単位の挨拶運動良かったです。
- ⑥ 保護者の期待度の高さを感じました。

Ⅶ 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績

{実績} 職員会議 0回 延べ 0人 企画調整会議 0回 延べ 0人

Ⅷ その他

特になし